

## 3月5日：アナリストの市場予想は意見が分かれる

先週のベトナム株式市場は大きく変動し、証券会社のアナリストは今週の株価動向は予想しづらいとした。

投資資金は市場に留まり次の上昇に向け、徐々に銘柄を買い入れていくと予想するアナリストがいる一方で、投資家の資金流入は弱くマーケットは押し目買いを探しに下落するかもしれないと予想するアナリストもいた。

ホーチミン市場の主要指数であるVN指数はこの日乱高下したが、0.01%高の1,168.69ポイントで取引を終えた。同指数は朝方下げていたが、週初めの取引で見られたようにこの日も引けに値を戻した。

週間でVN指数は0.02%上昇した。

VN指数はほぼ変わらずであり、「マーケットは上放れに備え、ほぼ持ち合い圏を形成した」（ベトドラゴン証券のアナリスト）

その一方で「テクニカル面で、VN指数は直近の取引では1,155 - 1,160ポイント水準で買い需要のサポートが入っている。しかしテクニカル指標では依然として資金流入が弱いことを示しており、強気相場の兆しはどこにも見られない」（BOS証券のアナリスト）

上昇トレンド回復を確かめる前に、VN指数は今週初め1,170ポイント水準をうまく切り抜けるかもしれないと証券会社は予想する。

「テクニカル面では、VN指数は反発するだろう。出来高は減少したが、10営業日、20営業日の平均出来高は高水準を保っており、資金流入がマーケットに留まっていることを示している。テクニカル指標では、回復がマーケットの短期的な主流になっている」（フー・フン証券）

「マーケットは再度、心理的な抵抗線である1,200ポイントを試すため、先週最初の2日間は上昇した。だが、利益確定売りが続き、買い手の努力は失敗に終わった」（サイゴンハノイ証券のアナリスト）

「ホーチミン市場における取引時間中の過重な取引注文はまた取引に影響を及ぼし、投資家心理は悪化した」

押し目買いを求めるマーケットのさらなる下落に伴い、今週の短期的な株価トレンドは予測不能だ。

先週、両市場（ホーチミン、ハノイ市場）の出来高は先週よりも高水準で20週移動平均よりも高かった。

公益株は3.4%上昇と先週、最もよく買われた。そのうち、ペトロベトナムガス（GAS）+3.6%、ペトロベトナムパワー（POW）が+6.7%と上昇した。

他のセクターでは素材、消費サービス、製造業の上昇が目立った。

その一方で消費関連株は-1.2%と最も売られ、マッサングループ（MSN）-1.2%、ビナムミルク（VNM）-1.7%、サイゴンビール・アルコール総公社（SAB）-5.4%と下落した。

銀行、製薬、ヘルスケア、情報技術（IT）も0.3~1%と値を下げた。

外国人投資家は先週売り越し、売買高で8,270万株、売り越し金額は3兆800億ドルを超えた。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。